

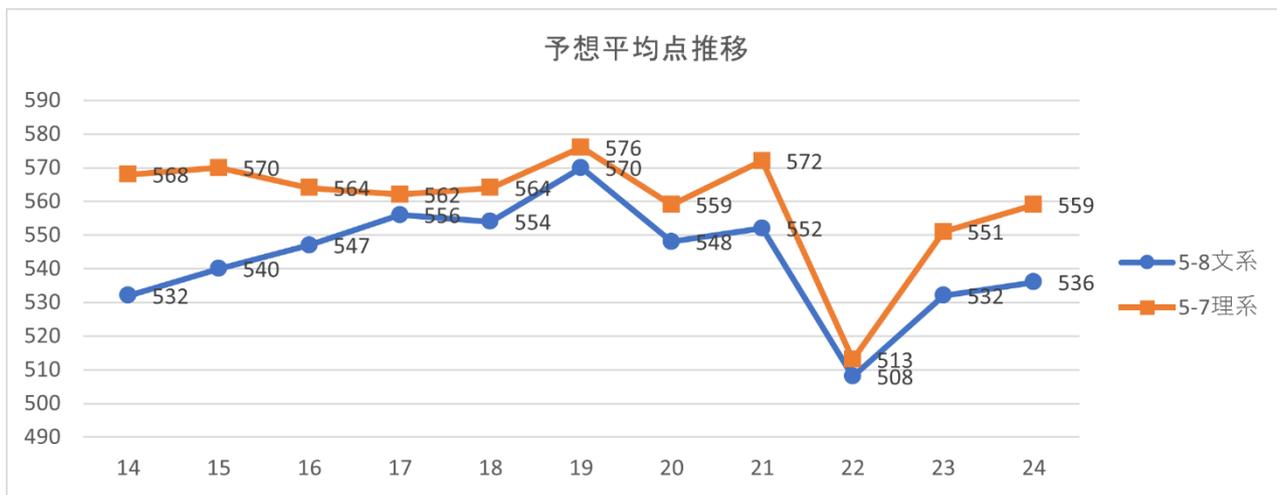


# 1 2024年大学入学共通テスト 結果速報

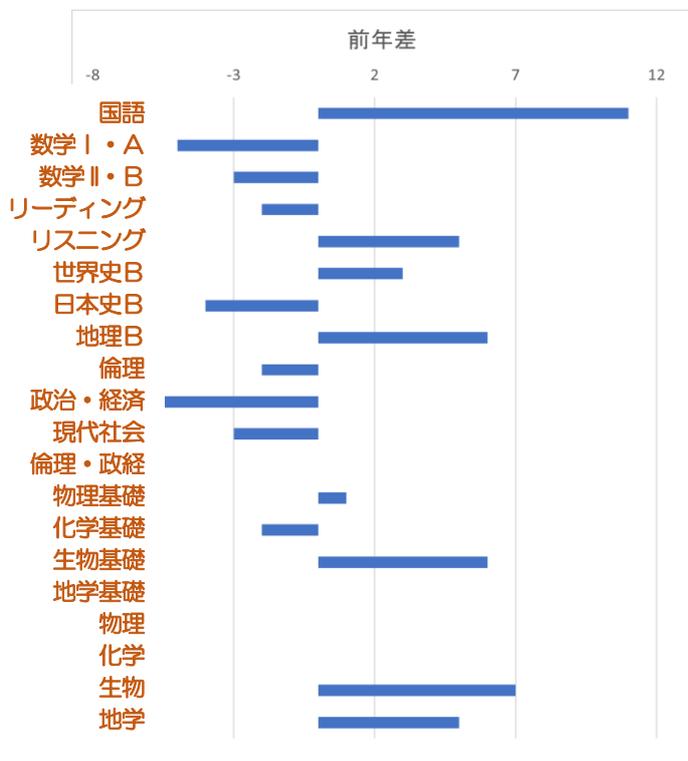
今年度の大学入学共通テストは、1/13（土）、14（日）に行われ、本校生も、福島大学を会場に260名余りが受験しました。以下に、今回の共通テストの概況を報告します。

## ①5教科総合（900点）の予想平均点

文系 536点 (対前年+4点)  
理系 559点 (対前年+8点)



## ②各科目予想平均点・前年差



各科目予想平均点・前年差		
教科・科目	平均点	前年差
国語	117	+11
数学	数学Ⅰ・A	-5
	数学Ⅱ・B	-3
英語	リーディング	-2
	リスニング	+5
地歴・公民	世界史B	+3
	日本史B	-4
	地理B	+6
	倫理	-2
	政治・経済	-6
	現代社会	-3
	倫理・政経	0
	理科	物理基礎
理科	化学基礎	-2
理科	生物基礎	+6
理科	地学基礎	0
理科	物理	0
理科	化学	0
理科	生物	+7
理科	地学	+5

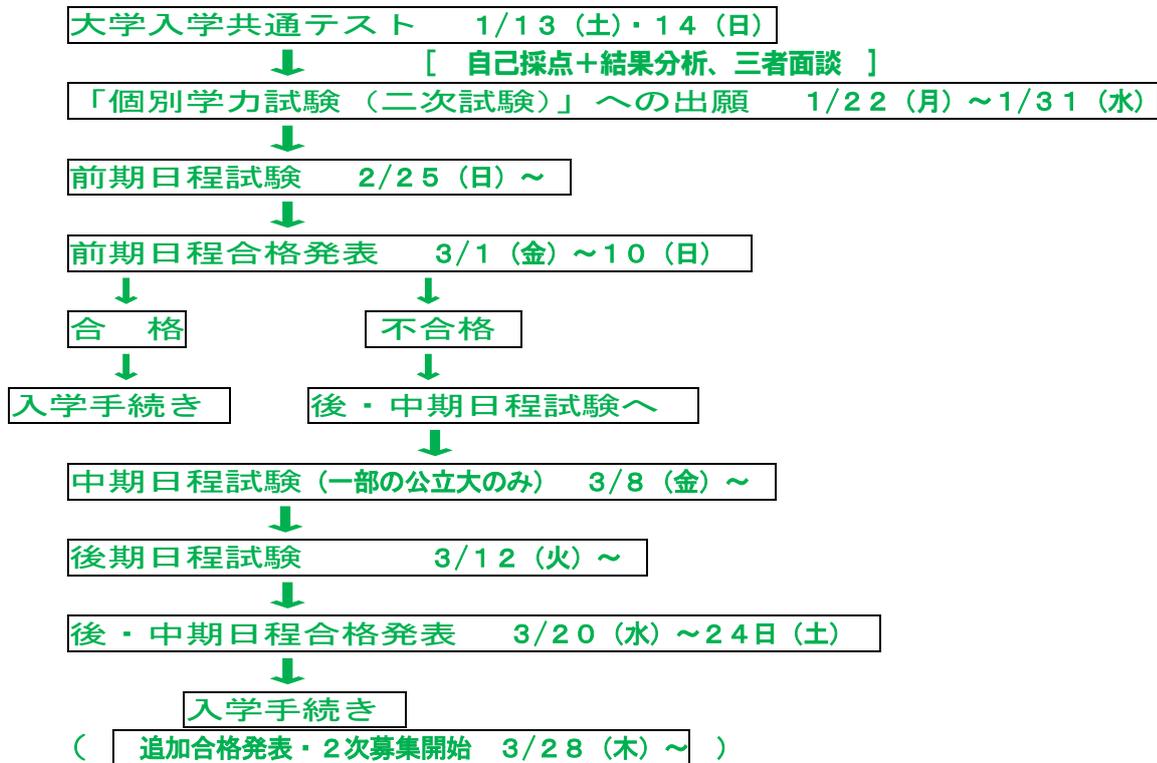
※ データネット実行委員会による予測値をもとに作成

## 2 国公立大個別試験のしくみ Q&A

国公立大入試について解説します。

Q1 今年の国公立大入試はどのような日程ですか？

A1 2024年の国公立大入試は以下の日程で行われています。



Q2 国公立大の個別学力試験(「二次試験」)へは、どのように出願するのですか？

A2 共通テストの翌日に「自己採点」を行い、そのデータを、データネット委員会や河合塾に送り、志望大学の合否判定をします。その後、その判定結果とこれまでの模試の成績や各大学の個別学力試験(以下「二次試験」)の科目や配点比などを基に、二次試験の出願先を検討します。そして、二次試験の前期日程・後期日程・(中期日程)で受験する大学を1校ずつ決定し、全日程を同時に出願します。出願後の変更は一切できません。

また、新潟県立大や国際教養大などの一部の公立大学では、「独自日程試験」を実施しており、他の日程の国公立大学と併願が可能です。

Q3 「第一志望」の大学はどの日程で受験すべきですか？

A3 前期日程で合格し入学手続きを行うと、後期日程での合格の権利はありません。入学手続きをしないと前期日程合格の権利を失うので、第1希望の大学は前期で受験することになります。したがって、後期日程は、前期合格者の抜けた「敗者復活戦」的な意味合いがあります。

Q4 先生方から「後期日程まであきらめずにがんばれ！」と言われるのはなぜですか？

A4 後期日程試験は、3/12以降に実施されるので、それまでに私立大に合格した人の中で、受験をやめてしまう人がかなり出ます。さらに、前期日程での合格者が抜けていきます。その結果、毎年、後期日程試験の欠席率は高く、実質倍率は大きく下がります。後期日程までやり切ることで、国公立大合格のチャンスが広がるということを理解しておいてください。また、すべての日程で不合格になったとしても、3/28以降に「追加合格」の連絡が来る可能性があります。実際に、橋高生も、追加合格を手に入れています。

Q5 「個別学力試験(二次試験)」はどのような試験ですか？

A5 記述式試験が一般的です。受験科目と配点は大学により大きく異なります。出題科目は、**理系学部の場合、数学、理科、英語、文系学部の場合、国語、英語、社会が中心**となります。東北大や県立医大医学部などの難関大では、科目数も多く二次試験の配点比率も大きくなります。福島大や県立医科大の看護学部のように、「小論文」や「総合問題(現代文読解、英文読解、データ読解等を含む)」を課す大学もあります。